

認定 NPO 法人盛岡 YMCA

NPO インターンシップ



- ▼ 盛岡YMCAが行う「NPOインターンシップ」は、ユース世代（主に県内の大学、短大、専門学校生）を対象として盛岡YMCAが実践している以下の分野でNPOがどのような活動を行っているかを実際に体験できるプログラムです。

1 未来を担う子どもたちの成長に伴走します。

1. 子どもたちの健やかな心と体を育み、全人的な成長を促すことを目的に行われる水泳、サッカー、体育、キャンプなどの活動に企画、運営スタッフとして加わることができます。
2. 盛岡YMCAの放課後児童クラブ「ぷらいむ・たいむ」は、学校が終わってから日が暮れるまでの時間を子どもたちの可能性を開き、自信を育てるための大切な“時”にすることを目的に行っています。インターンの皆さんは、指導員補助として実際に学童の保育に参加することができます。



II 国際協力活動

～一人ひとりが大切にされる平和な社会を目指して～

世界 120 の国と地域にある YMCA。YMCA の国際協力は世界につながる YMCA と共に難民支援、コミュニティ支援、そして国際理解のための活動を行っています。

盛岡 YMCA は全国の YMCA や県内の国際団体と協働して国際協力募金の推進、異文化理解活動を行っています。



III 地域の課題解決に向けた具体的なアクションに参画できます。

盛岡 YMCA では以下のアクションを行っています。

1. YMCA インターナショナル・チャリティーラン

参加費で障がいのある子どもたちを支援するとともに、“障がい”への社会的な理解と関心を高めることを目的とした駅伝大会です。大会運営スタッフとして参画することができます。



2. ピンクシャツデー

2007年、カナダの学生2人から始まったいじめ反対運動です。ある日、ピンクのポロシャツを着て登校した少年が「ホモセクシャル」だといじめられました。それを聞いた先輩2人が50枚のピンクシャツを購入、インターネット等で「明日、一緒に学校でピンクのシャツを着よう」と呼びかけました。翌日学校では呼びかけに賛同した数百名の生徒がピンクシャツや小物を見つけて登校。学校中がピンク色に染まり、いじめが自然となくなったそうです。日本のYMCAはこの運動を全国展開しています。岩手におけるこの運動推進にスタッフとして参画することができます。

IV ユースが主体となってプログラムを企画、運営することができます。

YMCAは社会課題の解決のため、ユースが主体となってプログラムを企画・開発し、運営していくことを応援しています。盛岡YMCAでは具体的に以下のプログラムがユースによって運営されています。

1. サンデースクール

サンデースクールでは、盛岡YMCAに集うユース世代の学生が、自分たちが「やりたい!」という思いをもとに、一から考えたイベントを行っています。内容は工作、料理、ニュースポーツ、季節行事などと様々なイベントを年6回行います。年齢や性別、体力などに関係なく、「誰もが楽しめる」場をつくることを目指しています。

2. プログラミング体験会

日本YMCAでは、2019年より「誰もがテクノロジーで世界を変えられる」をテーマにアマゾンジャパンとの連携のもと、日本国内でプログラミング体験会を展開してきました。これまで全国で2,000名以上の子どもたちが参加しています。盛岡YMCAではこのプログラムの開催に関する全ての準備、当日の運営、報告書の作成等学生有志が行いました。昨年は、盛岡と宮古においてプログラミング体験会を開催しました。

3. サポートプログラム

YMCA インターナショナル・チャリティーランの益金を用いて「認定 NPO 法人 accommon」と協働して発達に課題を抱える子どもたちを対象とした楽しいプログラムです。

4. 子どもの人権プロジェクト

県内の子どもたちから子どもの権利に関する標語を募集し、その中から選出された標語で「子ども人権カルタ」を作成します。加えて県内の教育施設に学生ボランティアが実際に出向き「子ども人権カルタ」を用いたワークショップを開催し、子どもたちとの交流を図っていきます。こうした活動を通して岩手の未来を担う子どもたちの中に自己肯定感としっかりとした人権意識を育てていくことを目的としたプロジェクトです。盛岡 YMCA に集う学生たちが岩手弁護士会子どもの権利委員会と協働で準備を進めています。

申し込み方法

下記の QR コードを読み取り以下の事項をご記入下さい。



【記入事項】

1. 氏名
2. 大学、学部、学科
3. 学年
4. メールアドレス
5. 電話番号
6. 性別